



～今後の朝倉介護保険事業者協議会の 更なる発展に向けて～

平成 28 年 3 月 12 日 (土) 一般社団法人朝倉介護保険事業者協議会の設立に関する報告会が行われました。報告会には朝倉医師会火野坂徹会長、朝倉介護保険事業者協議会蓮池年民初代会長をはじめ、歴代会長にご出席頂き、現役員・法人設立委員会より設立に関わる経緯報告、登記に関する報告、来期の定時総会・組織図等の今後の運営に関する報告を致しました。

報告後は火野坂医師会長、蓮池初代会長、今村前会長から今後に対する医療・介護との連携強化や組織運営に関する事など忌憚のないご意見を頂き、今後の協議会の更なる飛躍と硬い結束を高める貴重な報告会となりました。

<会長より会員の皆様へ>

会員の皆様方におかれましては、ご健勝の事と存じます。昨年の総会にて、一般社団法人化の設立へ御賛同頂き、臨時総会にて趣旨の説明等を実施して出席多数にて、進める事の承認を得ました。お陰をもちまして、本年 1 月 26 日 (火) 念願であった法人格を取得する事が出来ました。設立にあたり準備委員会を立ち上げました。今村委員長・渡辺副委員長・野田委員各氏の協力の元スピード感を持って、計画立案に沿ってタイミング良く進める事が出来ました。当協議会の出発に抱かれた熱い思いを歴代の諸先輩方より継続して更なる飛躍を目指して参りますので宜しくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。広報紙の 55 号がお手元に届く頃には、桜も満開の頃と考えます。今後、定期総会の準備等進めて参ります。設立報告会に至るまでの御礼並びに御挨拶とします。

一般社団法人 朝倉介護保険事業者協議会会長 出水清治



協議会ホームページへ今すぐアクセス！ <http://asakura.in>

朝倉介護

検索

事業報告 I 第3回スタッフセミナー

「認知症医療センターの役割と認知症の方を地域で支えるために」

特別養護老人ホーム宝珠の郷 眞田 幸司

平成27年12月9日(水)、朝倉市総合市民センター(ピーポート甘木中ホール)で平成27年度第3回スタッフセミナー「認知症医療センターの役割と認知症の方を地域で支えるために」が開催され、375名の参加がありました。

今回は、福岡県認知症医療センター 朝倉記念病院センター長 末次基洋氏を講師に迎え、もの忘れ外来の説明・実績から認知症疾患医療センターの役割まで事例を踏まえてわかりやすく説明を頂きました。



2009年7月から専門外来「もの忘れ外来」をスタート、朝倉医師会所属の診療所・病院の紹介を中心に包括支援センターやケアマネ、口コミで「もの忘れ外来」が広がり、その頃には実質的な認知症疾患医療センターの役割をすでに果たしていたことを知ることができました。

認知症疾患医療センターでは、国の政策である認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)に沿った地域づくりの推進と専門的医療機能・地域連携拠点機能としての役割を果たし、わかりやすい事例を交えていただいた説明には参加者も頷きながら聞き入られていました。

又、認知症の方を地域で支える為には認知症その人や家族の視点を重視し、まずは介護にあたる家族のサポートの充実、そして本人を取り巻く周囲の人の態度・対応が本人の認知症を悪化させないようにすることが大切だとご教授いただきました。

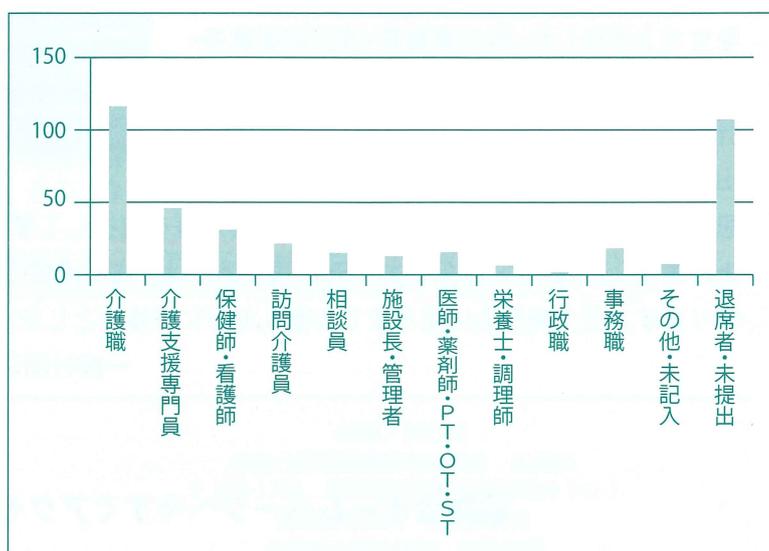
今後とも増加するであろう認知症の方をサポートする為、認知症疾患医療センターと我々協議会に関わる事業所が密に連携を取り、家族・地域と一緒にサポートする体制作りが不可欠だと改めて認識させられたセミナーになりました。

平成27年度 第3回スタッフセミナー アンケート結果

2015/12/9 朝倉総合市民センター

(1) 参加者の状況

参加者数 375名		
一般		
1	介護職	115
2	介護支援専門員	44
3	保健師・看護師	29
4	訪問介護員	19
5	相談員	13
6	施設長・管理者	10
7	医師・薬剤師・PT・OT・ST	13
8	栄養士・調理師	4
9	行政職	1
10	事務職	16
11	その他・未記入	5
12	退席者・未提出	106
	合計	375



(2) アンケートの集計

①勤務されている業種

業 種	
居宅介護支援	36
訪問介護・入浴	19
訪問看護	7
訪問リハビリ	4
通所介護	27
通所リハビリ	14
支援センター	2
居宅療養管理	0
グループホーム	27
介護福祉施設	60
介護保健施設	51
小規模多機能	3
病院・医院	0
行政	2
福祉用具貸与・住宅改修	2
その他	15
合 計	269

②現在の職種

職 種	
介護職	115
相談員 (病院・施設・ 福祉用具貸与)	13
訪問介護員	19
介護支援専門員	44
看護師	26
保健師	3
OT	3
PT	4
ST	0
医師	0
薬剤師	6
栄養士	3
調理師	1
管理者	10
事務職	16
行政職	1
その他	5
合 計	269

③経験年数

経験年数について		
1	1年未満	20
2	1年以上3年未満	37
3	3年以上5年未満	46
4	5年以上10年未満	63
5	10年以上	97
6	未記入	6
合 計		269

④講義内容について

アンケート回答者数 269名		
1	非常に良かった	59
2	良かった	159
3	どちらともいえない	11
4	あまり良くなかった	2
5	未記入	38
合 計		269
アンケート回答率 71.7%		

(3) ご意見をお聞かせ下さい

①講義内容に関するご意見	・事例を含めながらの講演で非常に分かりやすかったです。大変参考になりました
	・高齢者に認知症状が見られると認知症と思い込んで対応していた。同じような症状でも様々な疾患があることを考えご本人にとって良い対応ができるよう支援すべきだと考え直しました。タイプ別の診断方法も大変参考になりました
	・新オレンジプラン、認知症医療センターの役割、認知症初期集中支援チームの大切さが理解できました
	・専門的・具体的な内容がとても参考になりました。参加してよかったです
	・今後、認知症高齢者が増え続ける事を考えると地域でのサポートが必要と強く感じました
	・本人のサポートの話で、認知症の人に対する態度でなく、全ての対人場面で必要という事に気付きました
	・物忘れ外来について知る事ができて良かったです
	・自分の態度を改めて振り返り、明日からの介護にしっかり意識して頑張りたいと思いました
②今後のスタッフセミナーの内容・在り方	・先生的基本的態度的お話は納得できて共感しました
	・認知症の様々な症例を聞いて大変理解できました
	・新人を対象にした介護保険の基本を学ぶセミナーも考えてください
	・認知症や寝たきり、老老介護等の問題点などの共有を参加者で行い、各施設の対応等サービスの統一化ができれば理想
	・介護職員でも分かる医療の基本的な部分、介護職が知るべき医療の知識を学びたい
	・経験1年未満で専門用語が多くて苦労しました。
	・家族とのコミュニケーションの取り方についてセミナーして欲しい
	・身近で取り組まれている事等を今後も教えて下さい
③協議会への要望等	・介護記録の書き方
	・訪問リハ、訪問看護等の事例をもとに、どんな事をしているのか知りたいです
	・施設での認知症ケアの意味など、どう考えて行くのか色々なお話を聞きたい
	・ユマニチュードなど専門的技法の研修も良いと思います
	・地域包括支援について、宅老所や総合支援（子供から高齢者まで）についての紹介の講演を
	・全国的な介護の問題点に対して朝倉市がどう対応するのか知りたい
	・ホームページで情報をありがとうございます
	・看護師として考えさせられるセミナーをありがとうございました
・私達のスキルアップのための研修をありがとうございます	
・冬季は少し暖かくして頂ければ助かります	
・医療や介護の事故後の対応等を知りたい	
・倫理などの研修があればよいと思いました	

事業報告Ⅱ 部会活動報告

通所リハビリテーション部会

介護老人保健施設ラ・パス
通所リハビリテーション 矢野 勤

通所リハビリテーション部会は、現在11事業所で活動しています。

当部会では年4回の定例会を開催し、情報交換や意見交換を行い、各事業所間での情報共有を行っています。

今年度は、昨年4月の介護保険改正により通所リハビリテーションに関わる部分も大きく変化があったため、各事業者間での情報交換が更に重要なものとなりました。

また、12月の定例会は通所介護部会との合同で、「介護職員に向けてのリハビリテーション」の勉強会を開催しました。同じ通所系サービスとして同じような課題を共有しているので、貴重な意見交換が出来たと思っています。

利用者様が可能な限り自宅で自立した日常生活を送れるよう、日常生活動作の向上の機能訓練を行うだけでなく、食事や入浴、社会交流も図りながら、より良い在宅生活を送っていただけるような取り組みを提供できるように、今後も各事業所間の連携を密に取り合っており、お互いの質を高めていきたいと思っています。

通所介護部会

ウェルファ筑前 西末 直樹

通所介護部会は今年度より3事業所加入され、現在28事業所で活動しています。

今年度は年3回の定例会及び通所リハビリテーション部会との合同部会を開催しました。

定例会では介護予防ポイント事業、レクリエーションの充実、介護予防・日常生活支援総合事業について等の情報交換を行いました。

11月の通所リハビリテーション部会との合同部会では通所介護施設職員向けの機能訓練及び移乗動作についての研修会を開催しました。無理なくできる機能訓練メニューやベッド等の移乗動作のポイントを中心に行いました。

今後、通所介護もより日常生活に直結する支援が求められる事が予測されますので、機能訓練もより一層ご自宅や居室の環境を踏まえて行う等、より実践的な活動が行えるよう事業所間の連携や協力を図り、ご利用者様が在宅生活を継続できるよう支援を行っていききたいと思います。



Hobby Box

～私の好きなこと～

私の楽しみは、たまに気分転換で行くドライブです。行先はその日の気分で海だったり、山だったり、遠くだったり、近くだったりします。普段とは違う景色を見て、旬の美味しい海の幸、山の幸を堪能すれば日頃のストレスも発散出来ます。

ただし、運転はあまり得意ではありませんので、私が運転を担当するのは、専ら高速道路以外の車線の少ない道ばかりです。運転中はつい周りの景色に気を取られそうになりますが、安全運転を心がけています。今でこそナビが付いているので迷わずに行けますが、以前は道路地図を頼りにあちこち迷いながらも何とか目的地に辿り着いたものでした。今ではそれも楽しい思い出です。

寄り道も好きなので、途中で道の駅やスイーツの店、温泉施設などを見つけるとつい立ち寄ってしまいます。そこでお土産を買ったり、美味しいスイーツを食べたり、温泉に入ったり…。その為、いつも目的地に着くのが遅れたりしてしまいますが、こんな気ままなドライブが私は好きです。

この原稿を書きながら、次はどこに行こうかと思いを巡らせています。

朝倉市社会福祉協議会
朝倉ケアプランサービス 井上 眞由美



My Way

有限会社 ホット・オアシスの重松 ふみ子さん



私と重松さんとの出会いは、私がヘルパーとして勤務していた頃なので12～3年前だったと思います。

ヘルパーという業務は、自宅に向き一対一との関わりでお一人お一人、ケアの仕方が違い難しいところもありますが、やりがいのある職種でもあると思います。こちらの相談にも前向きに対応してくださり、いつも助かり心強く感じています。

何より昔と今も変わらないその容姿に、お会いするたび、お歳は・・・？と聞きたい気持ちでいっぱいですが、いまだ聞かれていない状況です。

また、ご自身の母親の介護と仕事を両立されていた時期があり、いろいろな面でご苦労もあったことと思いますが、お会いしても大変さを微塵も感じさせない姿にとっても勉強させてもらったことを思い出されます。

今はそれぞれに立場は違いますが、利用者の方の自立支援にむけて一緒にお世話ができればと思っています。

紹介文：ローズ倶楽部甘木 小野るり子

今回は重松さんからの紹介「朝倉医師会病院ヘルパーステーション 原千賀子さん」です！

「連携を取って下さい。」

特別養護老人ホーム水月吉井 河角 成明

山口県で生まれ育ち、うきは市の特別養護老人ホーム水月吉井に勤務して5年。仕事を始めた初日に施設長から受けた指示は一つです。「連携を取って下さい。」この一言だけでした。生活相談員として利用者及びご家族との連携、事務所内の連携、施設内の連携、看護・介護職員との連携、法人内の各施設・事業所間の連携、更には地域の医療機関や事業所、地域包括支援センターや行政・保険者との連携、地域の皆様との連携、朝倉介護保険事業者協議会の皆様との連携、筑後地区、福岡県内の施設・事業所との連携。考えればどこまでも広く、深く、大きな連携になります。

今までも、これからも連携を取って利用者の皆様に出来る事を続けて行きたい。困ったことがあれば何でも相談して頂ける存在でありたい。私に出来る事は限りがあるけど、周囲の皆様と連携を図ることで出来ることは有ると思います。

困難と言われる事例であれば有るほど連携を図れば何とかなる。利用者及びご家族の声をお聞きして、よりベターな提案ができれば、利用者さんが落ち着く居場所を提供できると思っています。

今後も多くの皆様と連携を図って行きます。

徒然日記

甘木中央病院 理学療法士 高村希望

訪問リハビリに携わって

現在、私は当院で訪問リハビリに携わらせて頂き、1年が経とうとしています。

始めた当初から今まで在宅での利用者様の残存能力に驚いてばかりです。また、患者さんとその家族が求めているリハビリと私が必要と思うリハビリに違いがある事に戸惑いを感じる時があります。

そんな中、今年の2月に訪問リハビリの研修会に参加させて頂く機会がありました。講演会の中で、「地域でリハビリをすると言うことは“向こうの土俵（患者さんとその家族）でリハビリをする””という言葉が印象に残っています。また、これからは病院・施設のセラピストではなく、患者さんの地域生活・在宅に視点を持ち、

その人らしく生活できるようリハビリ専門職として関わる必要があると言われていました。今までの私は「患者さんの身体機能・日常生活動作」等の全身状態や動作にばかりに視点が行っていましたが、これからは「患者さんにとってどうすれば地域生活・在宅で過ごしやすいのか、どういう事に生きがいを感じるのか」等、患者さんとその家族の生活に視点を持ち、患者さんの“家族”になったつもりで訪問リハビリに携わっていきたいと思っています。



編集後記

今年度、最後の会報となりました。そして、「朝倉介護保険事業者協議会」として最期の会報となります。次回は一般社団法人として新たなスタートです。この、今までの時代に終止符を打ち新たな船出の時に、この「編集後記」を担当できた事を大変光栄に思います。

物事が無事に終わるときは3・3・7拍子で締めます。しかし新たな船出を迎えるために、次のステップを祈って締めるときは一本で締めます。では、新たな船出に一本で締めたいと思います。御唱和下さい。「よー、パン！」。(訪看：福田)

事務局

朝倉介護保険事業者協議会 事務局
〒838-0022 福岡県朝倉市城 859
社会福祉法人 宏志会
介護老人福祉施設 きらく荘
TEL(0946)21-1833 FAX(0946)21-1883

編集／発行所

朝倉介護保険事業者協議会 広報部
〒838-1702 福岡県朝倉郡東峰村福井 942-1
社会福祉法人 朝倉恵愛会
介護老人福祉施設 宝珠の郷
TEL(0946)72-9811 FAX(0946)72-9813
印刷／井上総合印刷株式会社